

# 財政状況の公表

平成30年12月

岩手県奥州市

～はじめに～

平成 30 年 9 月 30 日現在の奥州市の財政状況を公表します。

この財政状況の公表は、市民の皆さんに市の財政がどのように運営されているか、また、財政がどのような状況にあるのかを広く知っていただくため、「奥州市財政状況の公表に関する条例」に基づき年 2 回公表しているものです。

今回は、平成 29 年度の決算の状況、平成 30 年度の予算、収入支出、市有財産、市債の状況など財政に関することについて説明します。

市民の皆さんには、市財政について、なお一層のご理解をいただき、市勢発展のためにご協力をお願いします。

## 目 次

第 1	平成 29 年度決算の状況	1
	1 一般会計	1
	2 特別会計	3
第 2	平成 29 年度市民負担の状況	4
第 3	平成 29 年度予算の状況	5
	1 一般会計	5
	2 特別会計	5
第 4	平成 30 年度収入支出の状況	6
	1 一般会計	6
	2 特別会計	7
第 5	平成 30 年度市有財産、市債及び一時借入金の状況	8
	1 市有財産	8
	2 市債	9
	3 一時借入金	9

# 第 1 平成 29 年度決算の状況

## 1 一般会計

平成 29 年度一般会計の歳入歳出決算は、第 1 表のとおりとなりました。依然として厳しい財政状況を強いられる中、総合計画等に登載された各種事業を着実に遂行しました。

【第 1 表】 平成 29 年度一般会計決算の状況

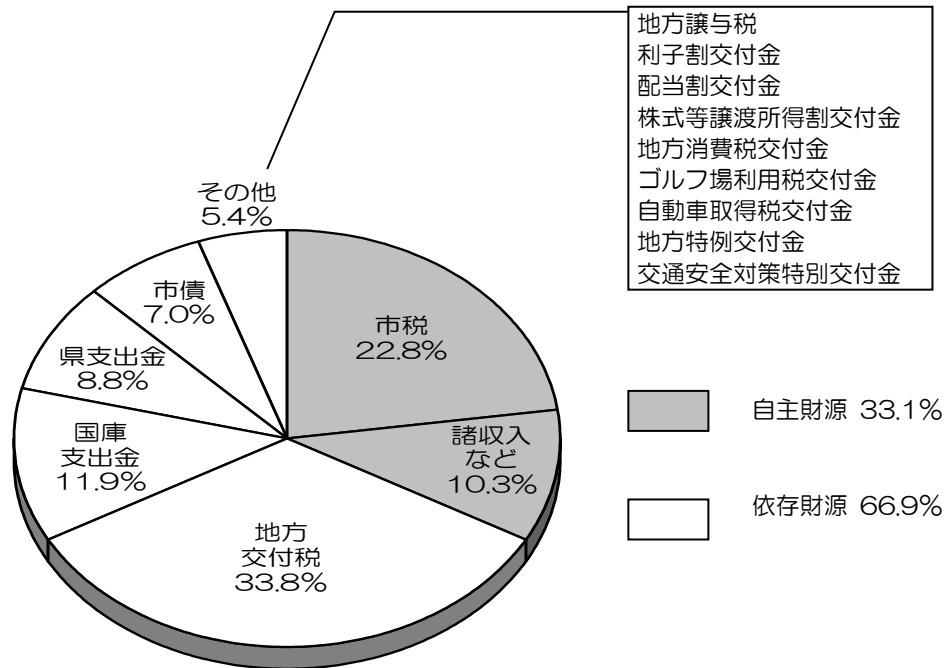
(単位：円、%)

区 分	歳 入	予算額	歳 出	予算額	差 額
		に対する割合		に対する割合	
一 般 会 計	58,066,337,296	98.3	57,545,462,793	97.5	520,874,503

歳入歳出決算の構造は第 1 図のとおりです。

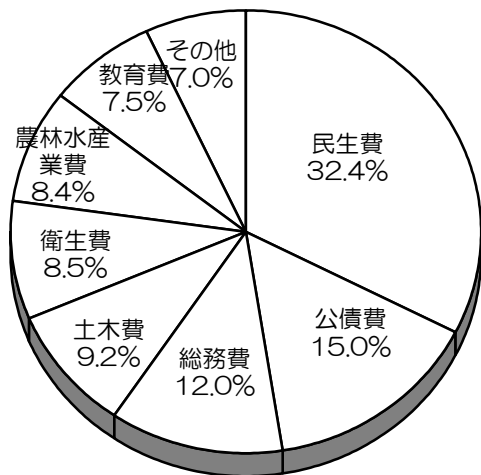
また、目的ごとの決算額を性質別の構成比で表してみると第 2 表のようになります。

【第 1 図】 平成 29 年度一般会計決算の構造

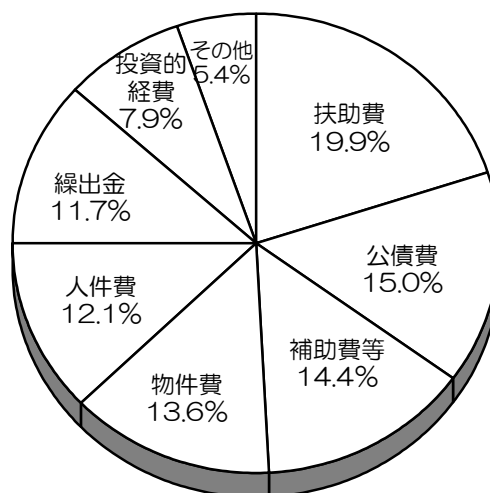


《 歳 入 : 58,066,337,296 円 》

目的別



性質別



《 歳出 : 57,545,462,793 円 》

【第2表】 平成29年度一般会計決算の構造（目的別、性質別）

（単位：％）

区分	扶助費	公債費	補助費等	物件費	人件費	繰出金	投資的経費	その他	計
民生費	19.4		0.5	1.8	1.9	7.8	1.0		32.4
公債費		15.0							15.0
総務費			0.9	3.5	5.0	0.1	1.1	1.4	12.0
土木費			0.1	1.0	0.7	2.0	3.8	1.6	9.2
衛生費			4.9	1.8	0.6	0.3		0.9	8.5
農林水産業費			4.5	0.6	0.7	1.5	1.0	0.1	8.4
教育費	0.5		0.2	3.8	2.3		0.6	0.1	7.5
その他			3.3	1.1	0.9		0.4	1.3	7.0
計	19.9	15.0	14.4	13.6	12.1	11.7	7.9	5.4	100.0

目的別のその他…商工費、消防費など。性質別のその他…積立金、出資金など。

## 2 特別会計

平成 29 年度の 9 つの特別会計の歳入歳出決算は第 3 表のとおりです。

【第 3 表】 平成 29 年度特別会計決算の状況

(単位：円、%)

区 分		歳 入	予算額 に対する 割合	歳 出	予算額 に対する 割合	差 額
国 保	事業勘定	13,791,311,741	100.2	13,109,313,748	95.3	681,997,993
	直営診療施設勘定	11,943,707	102.2	11,130,936	95.3	812,771
	後期高齢者医療	1,229,473,550	100.2	1,227,608,920	100.0	1,864,630
介 護	保険事業勘定	11,538,161,084	100.2	11,508,246,184	99.9	29,914,900
	介護サービス事業勘定	163,649,529	99.3	163,649,529	99.3	0
	簡易水道事業	151,042,599	90.2	121,550,988	72.6	29,491,611
	下水道事業	3,699,949,841	99.9	3,699,106,509	99.9	843,322
	農業集落排水事業	1,484,243,850	99.9	1,483,260,219	99.8	983,631
	浄化槽事業	349,790,909	99.8	348,827,202	99.5	963,707
	バス事業	74,334,044	65.9	73,274,224	64.9	1,059,820
	米里財産区	6,344,908	99.6	6,344,908	99.6	0
	合 計	32,500,235,762	100.0	31,752,303,367	97.7	747,932,395

※簡易水道事業特別会計の差額は、水道事業に統合したことに伴い、水道事業会計に引継ぎました。

## 第 2 平成 29 年度市民負担の状況

第 1 図でも示しているように、市税は自主財源として市政運営に欠かすことのできない財源であり、市の収入総額のおよそ 2 割を占めています。これを市民 1 人当たり及び 1 世帯当りに換算すると第 4 表のとおりとなります。

なお、歳出総額（繰越額を含む）も同様に換算すると、市民 1 人当たり 486,988 円、1 世帯当たり 1,278,305 円の経費となります。市民負担額とこの経費との差額は地方交付税や国県支出金などの依存財源で賄われています。

また、行政経費のうち公債費のみに要した経費は市民 1 人当たり 72,960 円、1 世帯当たり 191,514 円となりました。

【第 4 表】 市民負担の状況

(単位：円)

区 分	平成 28 年度		平成 29 年度	
	市民 1 人当たり	1 世帯当たり	市民 1 人当たり	1 世帯当たり
市 民 税	45,841	122,073	48,183	126,475
固 定 資 産 税	52,754	140,483	53,296	139,898
そ の 他 の 税	10,469	27,880	10,349	27,166
合 計	109,064	290,436	111,828	293,539

注) 人口及び世帯数は、各年度 3 月末現在の住民基本台帳による。

平成 28 年度 人口 119,502 人、世帯数 44,875 世帯

平成 29 年度 人口 118,166 人、世帯数 45,017 世帯

### 第 3 平成 30 年度予算の状況

#### 1 一般会計

平成 30 年度一般会計の歳入歳出当初予算は、6 月に公表したとおり 55,272,800 千円でしたが、繰越額 1,049,100 千円と、3 月定例会、6 月定例会、9 月定例会等で 3,499,618 千円を増額補正した結果、平成 30 年 9 月 30 日現在で 59,821,518 千円となりました。

#### 2 特別会計

8 つの特別会計の歳入歳出予算の状況は、第 5 表のとおりです。

【第 5 表】 平成 30 年度特別会計補正等の状況 (平成 30 年 9 月 30 日現在)  
(単位：千円)

区 分		平成30年度 当初予算額	繰越額	3月定例会 補正予算額	6月定例会 補正予算額	9月定例会 補正予算額	合 計
国 保	事業勘定	10,936,308		△20,081		685,285	11,601,512
	直営診療施設勘定	16,563					16,563
後期高齢者医療		1,258,770					1,258,770
介 護	保険事業勘定	11,966,162		△106,352	3,571	260,238	12,123,619
	介護サービス事業勘定	142,830			7,740		150,570
下水道事業		3,723,766				1,675	3,725,441
農業集落排水事業		1,578,749				9,704	1,588,453
浄化槽事業		422,814					422,814
バス事業		110,920	39,560				150,480
米里財産区		16,544					16,544
合 計		30,173,426	39,560	△126,433	11,311	956,902	31,054,766

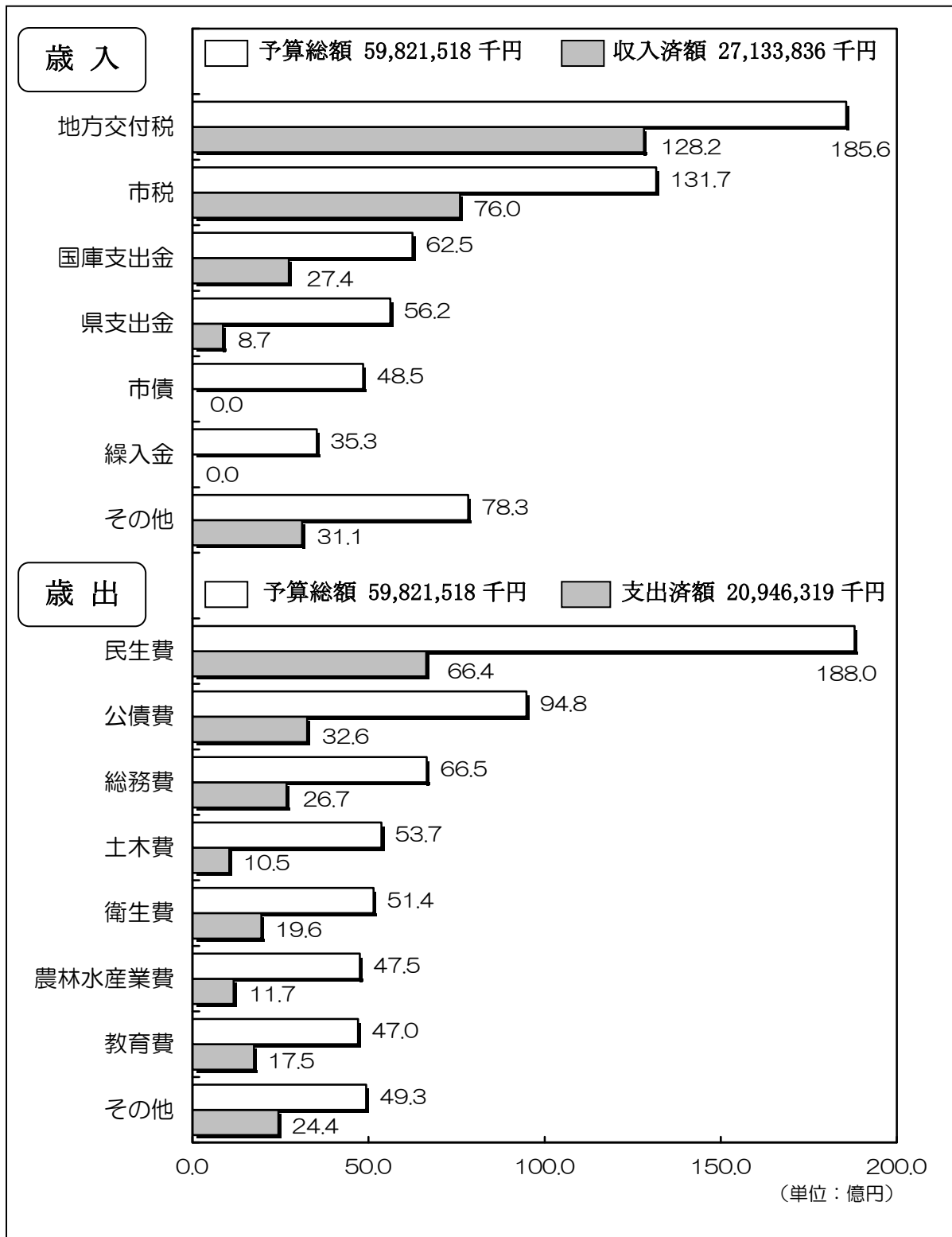
※簡易水道事業特別会計は、平成 30 年 4 月 1 日に水道事業会計に統合しました。

## 第 4 平成 30 年度収入支出の状況

### 1 一般会計

一般会計の平成 30 年度予算の収入支出の状況は下記第 2 図のとおりです。

【第 2 図】 一般会計収入支出の状況（平成 30 年 9 月 30 日現在）





## 2 特別会計

8つの特別会計の平成30年度予算の収入支出の状況は下記第6表のとおりです。

【第6表】特別会計収入支出の状況（平成30年9月30日現在）

（単位：千円）

区 分		予 算 額	収 入 済 額	支 出 済 額
国 保	事 業 勘 定	11,601,512	4,583,694	4,129,970
	直 営 診 療 施 設 勘 定	16,563	1,480	5,154
後 期 高 齢 者 医 療		1,258,770	421,557	304,204
介 護	保 険 事 業 勘 定	12,123,619	4,608,013	4,800,655
	介 護 サ ー ビ ス 事 業 勘 定	150,570	17,295	68,324
下 水 道 事 業		3,725,441	383,167	1,378,515
農 業 集 落 排 水 事 業		1,588,453	85,182	697,115
浄 化 槽 事 業		422,814	74,272	142,294
バ ス 事 業		150,480	7,375	51,336
米 里 財 産 区		16,544	2,568	1,142
合 計		31,054,766	10,184,603	11,578,709

※ 特別会計の収入不足額は一般会計の収入余剰額で補てんしている。

※ 簡易水道事業特別会計は、平成30年4月1日に水道事業会計に統合しました。

## 第 5 平成 30 年度市有財産、市債及び一時借入金の状況

### 1 市有財産

平成 30 年 9 月 30 日現在における市有財産の状況は、第 7 表のとおりです。

【第 7 表】 市有財産の状況（平成 30 年 9 月 30 日現在）

#### 1 公有財産 (単位：㎡)

区 分		数 量
土	庁 舎 等	81,424
	学 校 用 地	947,695
	公 園	1,022,781
	公 営 住 宅	156,194
	その他公共用地	9,061,357
地	山 林	57,314,150
	そ の 他	9,019,888
	計	77,603,489
建	庁 舎 等	35,299
	学 校	197,421
	公 営 住 宅	60,165
	その他公共用	284,548
	そ の 他	52,621
物	計	630,054

#### 2 有価証券 (単位：千円)

区 分	金 額
株 券	393,513
出 資	5,041,177
出 捐	461,069
計	5,895,759

#### 3 基 金 (単位：千円)

区 分	金 額
財 政 調 整 基 金	9,126,643
減 債 基 金	2,110,893
そ の 他 の 基 金 (うち土地の面積)	17,287,933 (125,858.82 ㎡)
計	28,525,469

注) ただし、一般会計、特別会計の基金は現金のほか貸付等を含む。

#### 4 立 木 (単位：m<sup>3</sup>)

材	積
	1,857,642

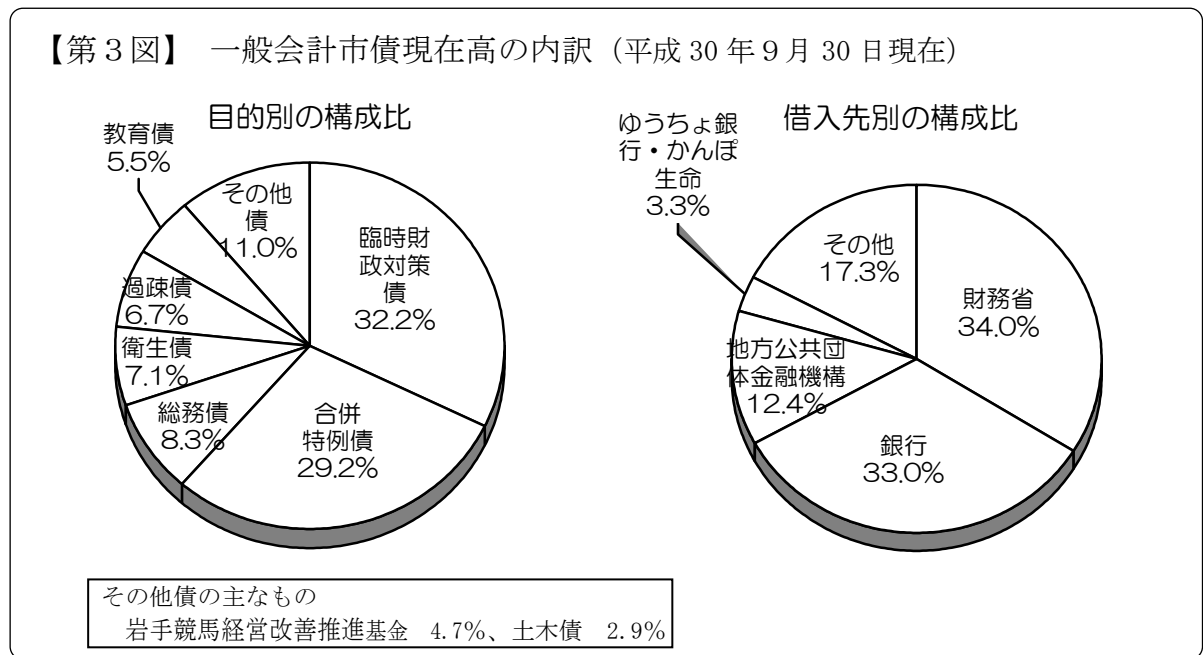
#### 5 車 両 (単位：台)

区 分		数 量
バ ス		63
普通自動車	乗 用	26
	貨 物	40
小型自動車	乗 用	22
	貨 物	20
軽自動車	乗 用	54
	貨 物	72
消防自動車等特殊車		240
計		537

## 2 市債

平成 30 年 9 月 30 日現在における一般会計の市債の現在高は 70,304,067 千円で、その内訳は、第 3 図のとおりです。現在高を市民 1 人当たりの金額に換算すると、598,103 円（1 世帯あたり 1,557,502 円）となります（人口は 117,545 人、世帯数は 45,139 世帯。それぞれ平成 30 年 9 月 30 日現在の住民基本台帳に基づく。）。

また、特別会計毎の市債の現在高は第 8 表のとおりで、特別会計全体で 35,786,107 千円となり、一般会計と合わせると 106,090,174 千円となります。一般会計と特別会計を合わせた市債の現在高は市民 1 人当たりの金額に換算すると 902,549 円（1 世帯あたり 2,350,300 円）となります。



【第 8 表】 特別会計市債現在高の状況（平成 30 年 9 月 30 日現在）

（単位：千円）

区 分		金 額	区 分	金 額
国保	事業勘定	-	下水道事業	22,407,949
	直営診療施設勘定	23,000	農業集落排水事業	11,808,593
後期高齢者医療		-	浄化槽事業	1,249,011
介護	保険事業勘定	-	バス事業	71,450
	介護サービス事業勘定	226,104	米里財産区	-
			特別会計合計	35,786,107

※ 簡易水道事業特別会計の起債残高は、水道事業に統合したことに伴い、水道事業会計に引き継ぎました。

## 3 一時借入金

平成 30 年 9 月 30 日現在における一時借入金の残高はありません。